

グルマリー・チッドヴィラーサーナンダについての熟考

グルマリーは私の生活の自然な一部

アナ・ラシュミ

私の名前はアナ・ラシュミです。もうすぐ 12 歳で、グルマリーはずっと私の生活の一部でした。実際に会ったことはないけれど、ずっと彼女とつながっていると感じてきました。どうしてそうなるのでしょうか。

それは、グルマリーの写真が私たちの家と祖母の家にあるからかもしれません。私のお母さんとおばあさんは、シッダ・ヨーガの道を 25 年間続けてきました。

それは、お母さんがシュリー・ムクターナンダ・アーシュラムと**グルデーヴ・シッダ・ピートウ**で**セーヴァー**をささげた時に体験した多くの美しい出来事や物語を、私に話してくれたからかもしれません。お母さんはこんな物語を話してくれました。

2003 年のある日、スイスのモントルーでのシッダ・ヨーガのリトリートで、お母さんはグルマリーとの「**シュリー・グル・ギーター**」の朗唱の時に、ハーモニウム奏者としてセーヴァーをささげていました。ある瞬間、彼女が目を上げると、グルマリーが自分のおなかを見詰めていることに気づきました——そこには私がもう 6 カ月いました。グルマリーの目から明るい光線がやって来ていました…私に！ いつもなら私はお母さんのおなかの中で活発に動き回っているのに、その瞬間、私は完全に静かになりました。

お母さんはこの体験に興味を感じて、「シュリー・グル・ギーター」の朗唱の後に、マントラ、**オーム・ナマー・シヴァーヤ**をチャンティングして数時間を過ごしました。その日に後で、彼女はグルマリーとの音楽のリハーサルに参加しました。チャンティングが始まった時、彼女は私

が前に後ろに動き、ムルダングの楽しいリズムに合わせて揺れるのを感じました。グルマールがお母さんを見て、グルマール自身のおなかを両手でなで始めました。お母さんはその日、グルマールのシャクティが、これから生まれてくる赤ちゃんの私に深く触れたと感じました。

それは、私が 2003 年 7 月 14 日のグルプールニマーに生まれたからかもしれません。

それは、グルマールが私をラシュミと名付けたからかもしれません。それは「太陽と月の光線」という意味で、私はその名前と調和して——エネルギーと熱意に満ちている——と感じます。

それは、私が赤ちゃんだった頃、眠る時や静かになるのに幾らか助けが必要な時はいつでも、お母さんとおばあさんが私にマントラ、オーム・ナマー・シヴァーヤをチャンティングしてくれたからかもしれません。

それは、今でも毎晩、グルマールからの柔らかくて大切な贈り物のかわいいクジャクの縫いぐるみと一緒に眠りに就くからかもしれません。

それは、私が不安な時には、心の中のグルマールの存在に助けを求めて、そうすると平和で安全な空間に戻るからかもしれません。

それは、私が 3 歳の時から、多くのシッダ・ヨーガのファミリー・サツァングやリトリートに参加してきたからかもしれません。私はよくサツァングの間に、参加者に物語を読むセーヴァーをささげてきました。そのセーヴァーをささげる時、とても大勢の人々に大きな声で話すことに緊張したら、私は朗読をグルマールにささげることを思い出し、そうすると、自信と恐れのない状態が私にやって来ます。私は自分自身の中で安心していられるようになります。

それは、2014 年のグルマリーのメッセージ、「音なき音が非の打ちどころのない静謐(せいひつ)な空間の中で生まれては静まる」を受け取ってから、私が聴く方法を学んだからかもしれません。このメッセージの言葉は、特に私が音楽家なので、私の中でピンとくるものがありました——私は7歳の時からサクソフォンの稽古を受けてきました。演奏する時、音が私の周りを回転して、穏やかで静かな空間を作っているように感じます。そして私が演奏する時、一つ一つの音が波のように上昇したり下降したりして、海を思い浮かべる時もあります。それはとても平和で満足していると感じさせます。

実際には、なぜグルマリーがいつも私の生活の自然な一部だと感じているのか、正確には分かりません。でも、これまでも、そして今もそうだとすることを、私は知っています！

グルマリーは私のグルで、そしていつの日か、私は彼女に直接会うでしょう。
ですから、私はその体験のために準備を続けています。

私は毎晩、彼女の優しいクジャクの縫いぐるみを抱いて眠りに就きます。

私はシッダ・ヨーガの音楽を聴きます。

私はシッダ・ヨーガのファミリー・サツァングに参加します。

私はこの夏、フランスで行われるシッダ・ヨーガのファミリー・リトリートに参加する予定です。

